

## 宮城環境アドバイザー現地検討会の開催（仙台管内）

平成28年7月20(水)に、宮城県環境アドバイザーによる現地検討会を開催しました。災害復旧工事（七北田川（蒲生）・北貞山運河・南貞山運河・五間堀川（赤井江）等、6箇所）における環境配慮について、県から説明・報告し、アドバイザーから意見（指導・助言）をいただきました。

### 検討会の様子



北貞山運河



五間堀川（赤井江遊水池）



荒浜漁港海岸

### アドバイザーからの主な意見

○ヨシ原が生息する箇所については、ヨシ原の保全を行わなければ生物が戻ってこないなので移植等を行うと良い。



○底生生物は、捨石等の水際を好んで生息するため、捨石の施工は天端を平坦に均さず、凹凸を設け、多様な種が生息できる配慮を行うと良い。



○重要種を移植する際、生息可能な場所を先に整備する事が望ましい。

○工事完了箇所については、事後調査を実施し報告していただきたい。

※上記、アドバイザーより意見（指導・助言）をいただいた意箇所については、環境に配慮した施工を実施していきます。

### 今後について

今回開催した仙台管内現地検討会の他、気仙沼・東部管内現地検討会及びアドバイザー班長会議・アドバイザー会議を開催し、工事実施における環境配慮に対する意見（指導・助言）をいただきながら、自然と共存した復旧・復興工事に努めて参ります。